

尼崎市立大庄北中学校

令和6年度 学校経営方針

《校訓》 自律 協調 自愛

生きる力を育む教育の推進

- 1 【知】確かな学力の育成
研究テーマ「授業デザインにおける“課題”の充実～コラボのタイムの効果的な活用～」
 - (1) ハンドブック「よりよい授業をめざして」と「協同的探究学習」の取り組みを通じた「主体的・対話的で深い学び」の充実
 - 「めあて」「課題」の提示に加え「ふりかえり」の確実な実施
 - コラボのタイムの効果的な活用
(身につけさせたい5つの力「コミュニケーション力、論理的思考力、シミュレーション力、ロールプレイ力、プレゼンテーション力」と連動した教科横断的な取組の充実)
 - 全国学力調査とあまっ子ステップアップ調査の分析結果の活用
 - できる学力とわかる学力双方の力を生徒に身につけさせる指導・支援の実施
 - (2) 教員の授業力向上
 - 意欲的な研修の実施(研究授業、互観研修、他校視察、研修会参加)
 - できる学力とわかる学力の定着に向けた指導・支援の推進
 - 多様な学び方を提供するための研究の推進
 - ICT機器の授業での活用促進
 - (3) 学習習慣の確立
 - 基礎学力の定着を目指した宿題の出し方の研究の推進
 - (4) 図書館教育との連携
 - 図書室の開館時間帯の検討
- 2 【徳】豊かな心の育成
 - (1) 道徳教育の推進
研究テーマ「対話を重視した生徒と教師が共に学ぶ授業」
 - 道徳の授業スタイルの確立を目指した研究の推進
 - 「道徳科の教科書」(29h)及び「心かがやく」(6h)における本校での実践事例を積み上げ
 - (2) 総合的な学習の時間
 - 統一テーマ「キャリア教育の推進」
- 3 【体】健やかな身体の育成
 - (1) 保健体育の充実
 - 小中が連携したリズムジャンプの実施
 - 薬物乱用防止教室等の実施
 - 性教育や心の教育講演会・自転車安全教室の実施
 - (2) 食育の取組
 - 中学校給食の充実
 - 食育講演会の実施

基本方針

《学校教育目標》

学び合い、支え合い、認め合える学校

《めざす学校像》

- 笑顔と笑いのあふれる学校
- 精神的安心感のある学校
- 保護者・地域と協働で生徒を育てる学校

《めざす生徒像》

- 進んで学習に取り組み学習の楽しさを追求する生徒
- 自分を大切に他人を尊重することができる生徒
- 時と場所に合わせて礼節を正す行動や言動ができる生徒

《めざす教師像》

- 生徒の成長や進歩を共に喜ぶ教師 <共感力>
- 組織を大切にする教師 <組織力>
- 変化(Change)、挑戦(Challenge)、創造(Creation)の精神を重んじる教師<向上力>

安全・安心な学校生活の創造

4 生徒指導・生徒支援・不登校対策等の充実

- 共通認識
「させる生徒指導」から「支える生徒指導」への転換
- 生徒理解に基づいた発達支持的生徒指導の推進
- 生徒の居場所づくりの推進(関係機関や地域との連携を含む)
- ノース(不登校別室)の充実
- SSW、SCとの連携強化、関係機関や、地域(子ども食堂等)との連携推進

《尼崎市教育振興基本計画》

1. 未来志向の教育
2. 個の尊厳や人権の尊重
3. 家庭・地域社会との連携

生徒一人ひとりのニーズに応じた教育の推進

- 5 特別支援教育の推進・ユニバーサルデザインに配慮した学校づくり
 - 個々の障がいの状況や教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供に取り組むとともに、多様な学びの場として、通常の学級、通級による指導、特別支援学級それぞれの充実を図る
 - 個別的教育支援計画と個別の指導計画に基づいた支援の実施

生徒による自治的な活動の推進

- 6 生徒の自治的活動の推進
 - 生徒会を中心に良い学校生活づくりを進める
 - 学級活動におけるリーダー育成を進める

小中連携の推進

- 7 小中連携の推進
 - ユニバーサルデザインに基づいた共通項目を設定する(教職員の連携)
 - 児童生徒主体による共通目標を設定し、実行する(児童生徒の連携)
 - 授業交流・授業研究会の交流を進める

教職員の働き方改革の推進

- 8 教職員の勤務の適正化・学校業務の合理化・効率化
 - (1) 業務管理を工夫改善する。
 - 定時退勤日(週1日)と自己啓発デー(週1日)
 - 部活動の活性化、ノ一部活動デーの実施
 - (2) 組織的に超過勤務の縮減を図る。
 - 集中会議日等の設定
 - (3) 会議の効率化による事務処理時間の確保
 - 計画的な会議運営(職員会、学年会、分掌会等)
 - (4) 学校行事の見直し
 - (5) 共有フォルダの整理